

- 8 水沼哲郎 (1970) 淡路島でヒメコブヤハズカミキリを採集, 甲虫ニュース, (10) 3-4
- 9 堀田 久 (1971) 淡路島のカミキリムシ, PARNASSIUS, (8): 1-5
- 10 堀田 久 (1973) 淡路島のクワガタムシ, PARNASSIUS, (10): 5-6
- 11 石原保他 (1973, 1974) 本四架橋ルート島々の昆虫相, 本州四国連絡橋に伴う周辺地域の自然環境保全のための調査報告書
- 12 登日邦明 (1974a) 淡路島の蝶相 (I), 佳香蝶, 26(98): 9-15
- 13 登日邦明 (1976b) 淡路島の蝶相 (II), 佳香蝶, 26(99): 25-32
- 14 堀田 久 (1974a) 淡路島産コガネムシ類, PARNASSIUS, (13): 1-3
- 15 堀田 久 (1974b) 淡路島のカミキリムシ追加 (II), PARNASSIUS, (13): 4
- 16 高橋寿郎 (1975) 淡路島産のコガネムシ類について, PARNASSIUS, (14): 1-3
- 17 堀田 久 (1975a) 淡路島の蝶相, 兵庫の自然, 5(1): 14-16
- 18 堀田 久 (1975b) 淡路島のゾウムシ類について, PARNASSIUS, (15): 1-4
- 19 堀田 久 (1975c) 淡路島のカミキリムシ追加 (III), PARNASSIUS, (15): 4

三熊山でスミナガシを目撃

淡路島では、スミナガシ *Dichorragia nesimachus nesiotus* Fruhstorfer は南淡町土生より 1 匹が得られているのみであるが、本年 (1976) 9 月 4 日午後 2 時すぎ、柳高校生物部のメンバー 3 名と共に、洲本市の背後の三熊山 (標高 130 m) に採集に出掛けた際、三熊館横の登山口より右側へ 15 m あまり登った地点で、6~7 頭のスミナガシがカラスザンショウの大木の樹上を飛翔するのを目撃した。

三熊山では、すでに 1955 年 8 月下旬に田中蕃氏が本種を目撃しており (MDK News 40: 82-84)、また筆者が本年 6 月に採集に訪れた際にも右前翅を捨てているので、この山に生息することは充分考えられる。アワブキで幼虫が発見されることを期待したい。

(登日邦明)